

倉庫の営業が変わりつつある。ファンドによる大型施設の建設が影響。ば、断ることも普通だった。仮に、それがいいお客が増え、それによる中、小型倉庫の空きが顕在化した。それが大型物流施設の建設時期から、変わりつつある。顧客がいれば、自社倉庫に限らず、空いている倉庫を探して運営を行う。倉庫内の作業も一括で任せられることもあつている。

今まで、倉庫営業の基盤は「待ち」。お客から言われたことを、言われたようにやることだった。新しいことにチャレンジするよりも、できるだけリスクをしないように仕事をこなすことが重要だった。

「自社にとらわれないうい。そんな倉庫会社があった。新しい倉庫営業を始めた会社だ。現在、この不況下でも取扱量を伸ばしている。」

「自社にとらわれないうい。そんな倉庫会社があった。新しい倉庫営業を始めた会社だ。現在、この不況下でも取扱量を伸ばしている。」

「自社にとらわれないうい。そんな倉庫会社があった。新しい倉庫営業を始めた会社だ。現在、この不況下でも取扱量を伸ばしている。」

### 営業変化の芽は数年前から

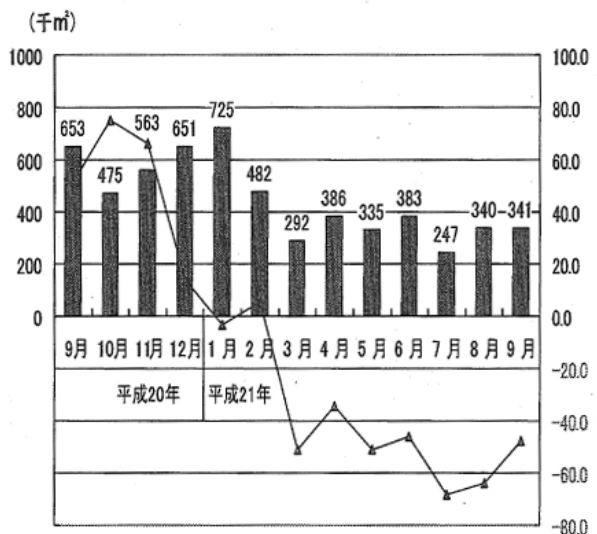
荷物を埋めるのは、自社の倉庫。仮にお客から提案とコスト削減のメ

## 攻めなければ...

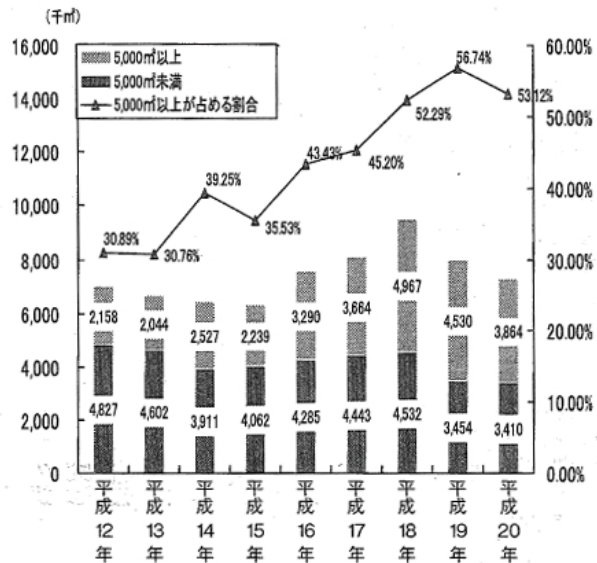
### イソーコ 変革する倉庫営業

#### 提言

図表1 最近1年の着工床面積(左)と前年同期比(右)

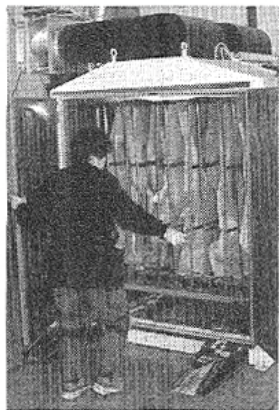


図表2 物流施設の規模別着工床面積の推移



ットを説明している。今までの「自社施設」のみでは、そこまでの提案を行うことは難しかった。特に、「情報力」の差は大きく出てきている。図表1に見られるように、リーマンショック後の物流施設の着工件数は大幅に減少している。そのため、新しい施設をお

一方で、物流不動産バブルともいわれ、土地価格が跳ね上がった。平成一七年、一八年ごろに仕込んだ大型施設は(図表2参照)、リーマンシ



自動化などコストダウンに加え、新たな倉庫業への模索続く

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

### 同じものない物流施設情報

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合

「立地はいいのだが、倉庫の広さが合わない」の情報が重要視されて、床荷重や天井高が合